

新富町の新たな力に！

第6回

あかねのつぶやき

38歳、新富町に住んでようやく金柑の美味しさを知りました。今まで人生損していたかも。そんな人を一人でも救いたい（続）

地域おこし協力隊通信

河野さんは元来メキシカン好きで、メキシコ料理屋でのアルバイトでは調理担当だったうえ、就職後は飲食店の立ち上げから運営まで幅広く携わり、複数の系列店で店舗責任者を4年ほど務めていました。そのため、「ナナブンノ



〒889-1411 宮崎県児湯郡新富町富田2-43
営業時間 ④ 11:30-13:30 ⑤ 17:30-23:00
⑥ 11:30-13:30 / 17:30-23:00 ※その他定休

おこし協力隊の河野さん（一丁田地区出身）と本武さん（新町地区出身）が営んでいます。各自、高校を卒業して上京し、都内で就職。社会人経験を数年積んだ後に

昨年末、町内に開業した「ナンノ二」。メキシカンとワインを主力商品に置いた同店は、地域おこし協力隊の河野さん（一丁田地区出身）と本武さん（新町地区出身）が営んでいます。各々、高校卒業後を卒業して上京し、都内で就職。社会人経験を数年積んだ後に

らドリンクメニューの開発・提供までをすべて担当しています。

A photograph of two bartenders, a man and a woman, wearing aprons, standing behind a bar counter. The woman is pouring a liquid from a bottle into a glass. There are several bottles of alcohol and glasses on the counter in front of them.

二)のフードメニューの開発や調理は河野さんの担当です。また、健全な経営を目指した営業計画も、河野さん主導で取り組んでいま

A photograph of a young man and woman standing on a train platform. The man, wearing glasses and a dark jacket over a maroon shirt, looks down at the woman. The woman, with short dark hair and a light-colored cardigan, looks up at him. They are positioned between two sets of train tracks under a clear sky.

たけうち やすひろ
竹内庸公さん

1992年、岡山県生まれ横浜育ち。教育分野への関心が高く、大学卒業後は島根に拠点を移し、こども教育支援を行うNPO法人に所属。1年間キャラリア教育の支援活動に関わった後、横浜で塾講師に。昨年9月より地域おこし協力隊に着任し、現在は町内の子どもたちのチャレンジを応援中。

ふたがわ ちなみ
二川智南美さん

1991年、群馬県生まれ。東京で歴史系の雑誌・書籍を制作する編集プロダクションに勤めていたが、2018年に参加した「南九州移住ドラフト会議」で新富町を知り、移住を決意。パートナーを引き連れ昨年9月から地域おこし協力隊に。大学で俳句を専攻、全て五七五にしたがる俳句女子。

二川さんと竹内さんが初めて新富町を訪れた時は、まだ交際中で初々しく、2人の馴れ初めを居酒屋「ミッキー」で聞いたことをよく覚えています。昨年9月、正式に着任し、10月に入籍。新富町で晴れて夫婦となりました。

肝心の協力隊活動内容は、奥さんの二川さんは役場の総務課に配属。編集業の経験を生かし、広報誌の制作を担当しています。特集内容の企画立案から取

一方、日那さんの竹内さんは講師の経験をもとに、ルピーモール商店街の一角で小学生を対象にプログラミング教室を運営しています。そのほか、地元の教育機関と連携し、キャリア教育などの授業支援を通じて、子どもたちのチャレンジを応援しています。縁もゆかりもない地への移住ですが、自然豊かで人も気候も温かい新富町は、2人にとって非常に住み心地の良い場所だそうです。夫婦の挑戦はまだまだ続きます。

夫婦揃つて移住を決めた
新婚隊員の挑戦とは!?

材、撮影、執筆などすべてを担当。4月の広報誌リニューアルを控え、奔走中だそうです。